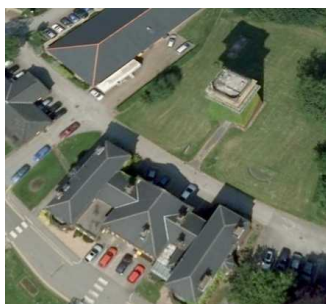


## 2008年 イギリス病院視察報告書

訪問施設 : Leeds Teaching NHS Trust (largest English NHS Trust)  
Total Available Beds: 2,709)

### 病院の概要

- ・この Trust には2つの大きな病院があり、各々1500床
- ・12のブロックで構成されており、ヨーロッパの中では一番大きい教育機関の病院である（日本でいう大学病院）



Leeds Teaching NHS Trust において、清掃やケイタリングを担当しているホテルサービス部門の担当者が、病院清掃に関するアプリケーションソフトの開発に関わっており、早くよりアプリケーションソフトを利用した病院清掃を実施していたことより、この病院を訪問した。

### ■病院清掃に関するアプリケーションソフトについて

病院清掃担当者とソフト会社の共同開発によるものである。

病院清掃改善について様々な取り組みを行ってきたイギリスでは、清掃の仕様などについても明確な基準がある。その規定を確実に実行し管理するためにソフトを作製した。さらには病院清掃の効率化・品質向上を図られるソフトに改良している。

2003年に、大規模な国立病院会議でこのソフトを発表したところ、NHSが興味を持ち他のトラストへも導入されることになった。現在では65のNHSトラスト（NHS Trustは、病院や地域の医療サービスの運営母体を指し、完全に保健省の統制下にあった保健サービスを地域ごとに独立させ、サービスの効率を上げることを目的として設立された。1Trustに3~6病院が登録している）で使用されている。

### ソフトの主な内容

- ・ 労務管理
- ・ 人員配置
- ・ 清掃実施内容の設定（基準値以上のもの）

- ・ インスペクションとのリンク

### ソフトを利用することにより

- ・ 迅速に対応できるようになった。(時間、人員、清掃の不備など。)
- ・ 過去からの経過がわかる。
- ・ 年間の予算計画についての検討がしやすくなった。
- ・ 師長や病院長などとの交渉もはっきりしたデータを示せることから交渉がしやすくなった。

など利点もある。

今後は在庫管理、病院内アンケートの結果集計、院内感染チームと連携し感染対策により寄与できるもの、教育システムについてもこのソフトで管理・実行できるように改良を行っているとのことであった。

- ・ 退職した場合の空きとなる清掃箇所
- ・ 入退職の管理、離職率
- ・ スタッフの出欠表を入力することによっての会計管理
- ・ 有休の消化率

大型連休をとられないよう有休をとるよう促すためである。

- ・ 大型連休をとる場合、やむを得ず派遣会社に依頼、他のメンバーに残業を依頼することもある。
- ・ 病欠が出た場合、欠員箇所をカバーするため、スポットクリーニングとフルクリーニングに分けられていた。それでも間に合わない場合は、上記と同様派遣会社に依頼する。
- ・ 病欠の%が分かるようになっており、現在の平均は8%。  
超えているところは赤字で表示され、休みが多い病棟などが確認できる。
- ・ スタッフの人柄を良く知る人、誰が面接したのかという情報

### 所感

トイレが汚い、ベッド下にホコリがあるなど局所的な難点は聞くが“汚い病院”ということは聞かない。ただ、イギリスでは“汚い病院”という印象があり、“汚い病院”は感染が起こるといような考えを持つ人が多くいた。

そのため、イギリス政府は数年前より病院清掃について取り組んできた。昨年末には病棟という一区画を患者がいない状態にして徹底した清掃を実施するように勧告した。

以前と比較して病院がきれいになり、病院清掃のみではなく手洗いなどのさまざまな医療施設内感染対策を講じたことから MRSA の感染率も低下している。

イギリスの病院清掃は、リスクレベル※によって清掃・点検の頻度を決定し実施している。清掃の方法、1つの便器を清掃するために必要な時間など細部にわたり基準がある。その基準を最低限度として清掃を実施しなければならない。

今回、調査を実施したアプリケーションソフトは基準が入力されており、各病院施設の情報を入力すると清掃に必要な時間が算出され、雇用条件の情報を入力すると人件費が算出される。

病院清掃は、日本と同様に安易に考えられコスト削減の際の標的となっていた。しかし、病院清掃に基準が設けられ遵守しなければならなくなったことによって、最低限必要な時間とコストをアプリケーションソフトで容易に算出し、清掃にかかるコストについて病院の上層部の理解を得られやすくなった。

このアプリケーションソフトは病院の清掃やケイタリングなどを担当する Hotel service 部門の

マネージャーが開発したものである。そのため、同調できる内容が多く含まれていた。また、開発したマネージャーはさらにアプリケーションを増やしていく意向であった。

当社でも便利と思われる機能であったが、複雑ではなく作製することも可能であると判断できる内容であったため、現段階ではこのアプリケーションソフトのみで販売するには商品力が弱いと考えた。利用方法等を検討し販売について考えていくこととする。